



untitled

<http://www.kana-pie.com>

「untitled」 肩書や、形にとらわれず、自由に広がりのある活動を目指して・・・

神奈川県社会福祉法人経営青年会通信

contents

新会長挨拶 1・2面
新副会長挨拶 2面
新役員紹介 3面
各委員会から 3・4面
会員拡大チーム発足 5面
活動報告 - 令和3年度第1回総会 - 5面
令和2年度卒会者のご紹介 6面
お知らせ - 今後の予定・新入会員紹介・会員数 - 6面

新 会 長 挨 拶

令和3年度より会長職を拝命しました真壁と申します。前会長田代鉄也様をはじめ、これまで本会の活動を支え続けてこられた歴代会長、諸先輩方にはあらためて御礼申し上げます。

周知の通り本会は「若手職員の資質向上、経営に関する研究及び研修並びに会員相互の交流を図るための事業を行うことを目的」として平成9年の設立以来会員のための自己研鑽の場を活発に創出してまいりました。しかしながらコロナ禍に突入して以降、以前のような活動ができない状態が続いております。そのような中、会長職に任せられ、数か月ですが全国の経営青年会はじめ様々な会合や活動に参加させてもらう機会をいただき、特に全国の活動に触れて、このような状況でも何とか活動しようという熱量と内容の深さに大きく刺激を受けているところです。同時に足元の神奈川において満足に活動できないことをコロナのせいで済ませている自分がいらないかと自省しています。

今後2年間、自分なりにふたつの目標を立てております。一つは本会の会員一人ひとりに資するための活動として、個々の繋がり、対話を重視し情報発信すること。二つ目は再び「会員数100名」を達成すること。

私が本会に入会させていただいてから20年弱、一番ありがたかったことが、大勢の方との繋がりができたこと、同時に一緒に活動していく中でコミュニケーションの機会を多く持つことができ、情報交換することで自法人の発展・展開に大きく役立ったことです。対話の機会は多ければ多いほど良い。これまでのような著名人をお呼びした参加型の大規模研修を実施できる世の中になるまでまだ時間がかかりそうです。ならばリモートツールを利用した会員同士の対話の機会の創出、会員一人ひとりの知識・悩みにフォーカスした活動を発展させることを考えています。



会長 真壁 洋道

(真幸会)

「会員数 100 名」の復活。人口減少社会の中で数を求める姿勢に疑問を持つ方もいらっしゃるかもしれませんが、近隣他県ではこのような状況でも着実に会員数が増えている青年会もあります。そんな他団体の魅力ある活動を学び、神奈川に持ち帰ることも私の使命と考えています。人口が減じているとはいえ、社会福祉法人の数が減っているわけではありません。その地域地域の未来の福祉を担う若い人材は確実にいます。本会は学びたい、同じような悩みを持つ方と話をしたいと考える皆様にさらに大きく門戸を広げ、青年会側から積極的に声を掛ける体制づくりをしていきます。

いずれにせよ、前例のない世情の中での新体制の発足となりましたが本会には優秀な仲間たちが大勢おります。また親会である経営者部会にも頼りになる諸先輩方がたくさんいらっしゃいます。そんな先輩方、また会員の皆様の力をお借りし、叡智を結集させながらこれまで以上に未来の福祉を担う若手経営者に資する経営青年会にしていきたいと思えます。2年間どうぞ宜しくお願いいたします。

新 副 会 長 挨 拶

副会長を拝命しました地域福祉協会の押川と申します。30代前半に入会し、長く研修委員として青年会ならではの魅力ある研修の実施を心がけて活動してまいりました。研修テーマの検討、講師選定、事前打ち合わせなどを通し、多くの経験と出会い、そして多くの事を学ばせていただきました。

今回は初めての総務広報委員会、それも担当副会長という役に大きな責任を感じています。改めて初心に戻り、委員会メンバーと共に明るく楽しく、本会の活動をより多くの方に知っていただくために努力してまいりたいと思えます。

本会の最大のメリットはたくさんの仲間たちがいることです。日々変化する福祉情勢の中、自法人の経営の課題や悩みなどを親身になって聞いてくれ、寄り添ってくれる仲間たちがいたおかげで今日の私があります。私の役割はその仲間たちと共に会長を支え、この厳しい福祉業界と本会の発展に尽力することです。微力ではございますが、よろしくお願いいたします。



副会長（総務広報担当）
押川 哲也
（地域福祉協会）

副会長を拝命しました三神会の井田と申します。平成 21 年の入会以来、多くの先輩方から学びをいただき、多くの仲間と切磋琢磨をしてまいりました。これらの学びは、私自身の施設経営に際し、ダイレクトに役立つ情報となっています。そして、そのような貴重な情報を躊躇なく交換しあえる仲間を得ることができたことは、最も貴重な財産といえます。



副会長（研修担当）
井田 友花
（三神会）

コロナ禍により、多くの活動が制限される中での新体制スタート。会員同士が Face to Face で親睦を深める機会が失われている現状は、私たちの経営環境だけでなく、本会にとっても非常に厳しい状況といえます。しかしながら、これまでに培った仲間との絆を思えばこそ、この難局も乗り越える勇気を与えられます。情報共有の手段は多様化しています。最も重要なことは、その手段よりも、相互の信頼関係の深さではないでしょうか。今こそ、これまでに得た仲間との絆を活かすべき時。本会や会員法人の皆様が共に前進するための一助となる様、尽力してまいります。これからもよろしくお願いいたします。

新 役 員 の 紹 介



幹事（研修委員長）

平本 剛士

（さくら会）



幹事（総務広報委員長）

石川 友紀

（泉正会）



幹事（高齢研究委員長）

（新任）小倉 青龍

（松緑会）



幹事（保育研究委員長）

（新任）渡邊 成仁

（松が丘保育園）



幹事（障がい研究委員長）

（新任）佐竹 泰三

（聖音会）



幹事（会計）

平本 秀真

（愛成会）



監事

栗田 義晃

（栗山会）



監事

（新任）福原 高洋

（喜寿福祉会）

直前会長 田代 鉄也（喜寿福祉会）

各 委 員 会 か ら

研修委員会

コロナ禍での緊急事態宣言が続き、研修委員会では例年のような研修の企画・運営が行えない状態が続いております。昨年度はオンライン座談会という形で研修を行いましたので、今年度もそれに代わる研修活動をオンラインで行いたいと考えています。またこれを機に、今後は今までのような研修活動とは異なる形で青年会の会員の皆様に資する活動を検討していきたいと考えています。このような活動はどうだろう、といったご意見がありましたら研修委員までご連絡いただくと幸いです。引き続きよろしくお願いいたします。

【研修委員長 平本 剛士】

総務広報委員会

本年度は、事業計画の通り年2回の広報誌発行、会員獲得、総会の運営を行います。厳しい状況が続き活動の制限もありますが、広報誌を通じて会員の皆様への情報提供、活動状況をお伝えしていきます。

広報誌の到着、楽しみにお待ちしております！

【総務広報委員長 石川 友紀】

高齢研究委員会研修会

本会の目的のひとつでもある、青年会員との連携交流や資質向上に係る活動をしっかりと積み重ねていき、今後の糧としていくとともに皆様のご助力の末に楽しく有意義な研究委員を展開していければと思います。

本会の諸先輩方と比べてまだまだ年齢・経験的にも未熟ではありますが、精一杯務めさせていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

今年度の活動は、映画「ケアニン」のオンライン上映を予定しています。詳細が決まり次第ご案内しますので、ぜひご参加ください。

【高齢研究委員長 小倉 青龍】

保育研究委員会研修会

今年度は新型コロナウイルスが蔓延している状況を考慮し、冬にインターネットを使ったオンライン研修会を開催することを予定しております。

新型コロナウイルスのワクチン接種が進み感染者が減少する一方で、子どもへの感染力が強い種が出てきたことで、以前にも増して各施設で感染症対策に追われる日々が続いていると思います。しかし、こんな時だからこそ多くの知識を学び、子どもを取り巻く保育環境を整えていくことが大切だと感じます。大変お忙しい時期になりますが、ご参加いただけると幸いです。

【松が丘保育園 渡邊 成仁】

障がい研究委員会研修会

緊急事態宣言が解除されましたが、これから冬に向かってコロナ第6波はもちろん各種感染症対策に備え気の抜けない日々が続いております。そうしたなか、障がい研究委員会は Zoom を使って 11 月 12 日に開催します。当日の主な議題としては、

1. 各法人のコロナ対策

- (1) 日常の施設内での対策
- (2) 研修や行事などの対策
- (3) ご利用者やそのご家族への注意喚起
- (4) 職員への注意喚起

2. コロナに係る補助金や助成金および請求時の加算などの情報交換を行っていく予定です。



【障がい研究委員長 佐竹 泰三】



会 員 拡 大 チ ー ム 発 足

このたび会員拡大担当を拝命しました敬寿会の金澤敬祐です。

私の出身も所属する法人の所在地も山形県にあり、約 10 年前に特養を立ち上げることをきっかけに相模原市へ来ました。当時の本会は、神奈川県に法人本部があることが入会の条件であり、私は対象外でした。そんな時、田代直前会長をはじめとした諸先輩方が規約を変更するなど、親会に働きかけをしていただいたお陰で、会員としての第一歩を切ることができました。あらためて心から感謝申し上げます。

あの時、社会福祉法人の経営に関して、右も左もわからなかった私が、今日まで頑張ってきたのは、間違いなく本会の大好きな仲間が居てくれたからです。皆様方も感じていると思いますが、社会福祉法人の経営は、年々複雑化し、人事一つを取っても悩みの尽きないものとなっています。職場の中では、愚痴や弱音すら吐けない方が多いのではないのでしょうか。少なくとも私は、そうでした。そして、そのような悩みを解決してくれたのが本会でした。本会を通じて、皆様方にも私と同じ思いを感じていただけると信じています。

そんな私もこれまでは、一人の会員として、たくさんの先輩や仲間とよく学び、よく遊んで活動に専念しておりましたが、今後は、本会の会員拡大に向けた取り組みを任される立場になりました。率直に申しまして、素直にうれしい気持ちより、その責任の重さに対する不安のほうが大きいというのが、正直なところです。このコロナ禍で厳しい状況の中にあって、今後、着実に会員を伸ばしていくことに対しては、プレッシャーも感じています。

現在の会員数は 75 名おりますが、真壁会長が卒会する 2024 年度末までに 30 名の諸先輩方が卒会されるという現実があります。質の高い活動を継続する為、少ない会員の方々に役割や負担が偏らないようにする為、そして、組織力・スケールメリットを活かす為にも会員拡大は必要だと考えています。真壁会長が掲げている会員拡大目標である「会員 100 名達成」に向けて、本会及び会長の理念を私も学ばせていただき、そして、何より皆様方からの協力をいただきながら、本会を一層躍進させたいと思っております。

今こそ、オール神奈川で盛り上げていきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

【総務広報委員会会員拡大担当 金澤 敬祐】



活 動 報 告

令和3年度第1回総会

例年 6 月に開催している総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面表決とさせていただきました。皆様にご協力いただき、第 1 号議案 令和 2 年度事業報告(案)について、第 2 号議案令和 2 年度収支決算報告(案)についてはそれぞれ過半数である賛成 53 で可決されました。

令和2年度卒会者のご紹介

本会に多大なるご尽力をいただきました令和2年度の卒会者をご紹介します。本来ならば、例年6月の総会等にご案内し、その功績をたたえ感謝状を贈呈していましたが、今年度はコロナウイルスの影響のため、感謝状は郵送させていただきました。卒会者の皆様、ありがとうございました。

甘利 悟 様 (誠々会)	森 弘樹 様 (富士美)
水島 圭一 様 (つちや社会福祉会)	飯田 正孝 様 (一燈会)
岡部 一郎 様 (浄泉会)	大谷 誠 様 (二津屋福祉会)
豊川 忠紀 様 (みらい)	糀山 英人 様 (横浜育愛会)
稲垣 誠 様 (中心会)	上原 光貴 様 (上村鶴生会)
望月 衛 様 (小田原支援センター)	通木 光男 様 (ちとせ会)
手塚 賢二 様 (中心会)	晝間 靖裕 様 (横浜鶴声会)



【 順不同 】

お知らせ

今後の予定

詳細については、案内書、またはホームページでご確認ください。

開催日	場所等	テーマ等
令和3年11月12日	オンライン	障がい研究委員会主催研修会 情報交換会
令和4年2月頃	オンライン	保育研究委員会主催研修会 マインドマップ
令和4年2月頃	未定	令和3年度第2回総会・研修会
未定	オンライン	高齢研究委員会主催 映画「ケアニン」上映

新入会員紹介

長田 栄作 様 (育成会)	小方 翔三 様 (育成会)
久岡 孝範 様 (きらめき会)	【 順不同 】

会員状況

75名 法人数56法人 (令和3年10月31日現在)

編集後記

皆様、お忙しいところ広報誌の原稿作成にご協力いただきありがとうございました。コロナウイルス感染者も減り、少しずつ世間は日常を取り戻していますが、まだまだ私たちの業界は油断が出来ない状況が続いています。第6波がいつやってくるのか、、、1日1回はコロナの話をしている気がします。堂々と出歩ける日が待ち遠しいです。(Yuki Ishikawa)

発行／神奈川県社会福祉法人経営青年会
連絡先／〒221-0825
横浜市神奈川区反町3-17-2
神奈川県社会福祉センター7階
(福) 神奈川県社会福祉協議会
福祉サービス推進部
電話：045-534-5662
Fax：045-312-6302